

第3次浜松市中山間地域振興計画(案)に 対するご意見ありがとうございました

市民の皆さんからの提出意見と
その意見に対する市の考え方の公表



令和6年11月から12月にかけて実施しました第3次浜松市中山間地域振興計画(案)に対する意見募集(パブリック・コメントの実施)に貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

意見募集を行った結果、市民等50人・3団体から112件のご意見が寄せられましたので、それらのご意見とご意見に対する市の考え方を公表いたします。

ご意見につきましては、項目ごとに整理し、適宜要約し掲載しております。

また、お寄せいただきましたご意見を考慮して、「第3次浜松市中山間地域振興計画」を策定し、令和7年4月からの実施を予定しています。今後とも、第3次浜松市中山間地域振興計画に対するご理解とご協力をお願いいたします。

なお、この内容は、市ホームページ(<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>)にも掲載しております。

令和7年2月

浜松市市民部市民協働・地域政策課(中山間地域振興担当)

〒431-3392 浜松市天竜区二俣町二俣481

TEL 053-922-0200

FAX 053-922-0049

E メールアドレス

chusankan@city.hamamatsu.shizuoka.jp

募集結果

【実施時期】	令和6年11月15日から令和6年12月16日		
【意見提出者数】	50人・3団体		
【意見数内訳】	112件 (提案22件、要望50件、質問24件、その他16件)		
【提出方法】	持参(8) 郵便(0) 電子メール(10) F A X (3) 説明会等(32)		
【案に対する反映度】	案の修正	20件	今後の参考 41件
	盛り込み済	11件	その他 40件

目次

全体（意見数 9 件）		P 1 ～ P 2
第1章 中山間地域について（意見数 3 件）		P 3
第2章 これまでの振り返りと新たな中山間地域振興計画について （意見数 3 件）		P 4
第3章 計画の位置付け（意見数 1 件）		P 5
第4章 計画の考え方（意見数 3 件）		P 6
第5章 計画の概要（意見数 15 件）		P 7 ～ P 11
第6章 重点方針（意見数 3 件）		P 12 ～ P 13
第7章 主要施策（意見数 67 件）		P 14 ～ P 33
その他（意見数 8 件）		P 34 ～ P 35

全体(意見数 9 件)

質問 1	第2次計画と第3次計画で、重点方針などで違いはあるのか。
---------	------------------------------

【市の考え方】その他

重点方針については、第2次計画では5つを掲げていましたが、第3次計画では「まち」、「ひと」、「しごと」をキーワードとした3つにまとめています。また、集落座談会やアンケート調査、各種団体等との意見交換会でいただいたご意見を重点方針や主要施策をはじめ、計画全般に反映させています。

提案 1	本計画はいわゆる総論であり、地域毎の各論が示されていない。主要施策毎に「課題」、「理想の姿」、「取組」が体系的に示されているが、地域によって当てはまるものと当てはまらないものがあり、また当てはまったとしても必ずしも優先順位が高いとは限らない。地域別計画の記載をするべきではないか。
---------	--

【市の考え方】その他

本計画は、中山間地域全体の振興を図っていくための活動指針として策定し、共通する課題の解決に向けた施策を体系化しているものです。

なお、地域から「地域別計画を作成したい」という主体的なご意見をいただければ、地域と行政が一緒になって、計画づくりを進めていけるよう支援したいと考えています。

要望 1	中山間地域は、都市部の人にも「水・森・土」など関係がある地域である。中山間地域の振興を考えるときは、全市民が意識することが大切である。広報も続けてほしい。
---------	---

【市の考え方】今後の参考

いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

その他 1	計画に沿って、着実に推進していただきたい。
その他 2	浜松市の中山間地域は、中国地方に劣らない過疎先進地域、課題先進地域と言っても過言ではない。この課題を克服し、未来に希望が持てる中山間地域像を具現化出来れば、政令指定都市機能の新たな価値を生み出すとともに、その成果は国全体に対し大きなインパクトを与えるのではないかと。中山間地域が持つ価値や可能性、直面している危機的状況とそれらを克服する意義が共有できる計画になるとよい。

その他 3	体系図の色彩が柔らかく、文調が「ですます調」でソフトな印象を受けた。 令和5年度のアンケート調査から、中山間地域の人と都市部の市民では優先順位が違うと感じた。体系図の主な取り組みについては、アンケート結果に沿った内容になっている。道路工事については、生活道路の工事について優先的に書かれている。地元に踏み込んだ、根付いた内容でありがたい。
その他 4	都市部の市民は、中山間地域の恩恵を受けていることに気づいた。
その他 5	中山間地域について、都市部の市民がイメージすることと、中山間地域の市民とにズレがあってはいけないと感じた。
その他 6	概要版について、丁寧に作られていると感じた。重点方針「まち」、「ひと」、「しごと」について、人の繋がりを大切にしてほしいと思う。この計画が、うまくいくことを願う。

【市の考え方】 その他

ご意見として承ります。

第1章 中山間地域について(意見数3件)

1 中山間地域とは

提案 2	中山間地域図の引佐地域北部の地域が曖昧なため、地図の外側に明記 してみてください。
---------	--

【市の考え方】案の修正

いただいたご意見により、以下のとおり修正します。

《修正内容》

P1 1 中山間地域とは

(修正前)

中山間地域図のみ。

(修正後)

中山間地域図に加え、対象地域を追記。

そ の 他 7	「この地域は美しい景観の提供だけでなく、優良な木材を供給して います。」と書かれているが、木材生産を生活の糧とし、優良木材を供給 するために、植林し、枝打ちし、間伐をしてきた結果、美しいと言って いただける山になったと考える。
------------------	--

【市の考え方】その他

ご意見として承ります。

2 中山間地域の役割

そ の 他 8	『森林』は、土砂災害を防ぐ機能のほか、大気中の二酸化炭素を吸 収して…」とあるが、天竜区の森林は人工林であり、木材生産が第一の 目的であると思う。
------------------	---

【市の考え方】その他

ご意見として承ります。

第2章 これまでの振り返りと新たな中山間地域振興計画について(意見数3件)

1 これまでの中山間地域振興計画について

質問 2	中山間地域への移住者はどのくらいいるのか。
---------	-----------------------

【市の考え方】 その他

市の事業を活用した中山間地域への移住者数は累計273人(2015(平成27)年度～2023(令和5)年度)となっており、第2章1「これまでの中山間地域振興計画について」の中に記載しています。

2 今後に向けた課題

要望 2	将来人口の概況を記載するとともに、「参考 数字で見る中山間地域の課題」へ5年後、10年後の推計人口を地域別に掲載するべきではないか。また、人口推計が困難な場合は、地域別に最新の人口ピラミッドを掲載するべきではないか。
---------	--

【市の考え方】 案の修正

中山間地域の地域別人口推計については、現時点で利用可能な統計がないため、本計画へ掲載することができません。

なお、人口ピラミッドについては、いただいたご意見により、以下のとおり修正します。

《修正内容》

P67 参考 2 過疎化

(修正前)

「人口ピラミッド」無し。

(修正後)

地域別の「人口ピラミッド」を追加。

3 計画策定の趣旨

その他 9	「持続可能な地域づくり」と言われるが、江戸時代、明治、大正、昭和まで中山間地域にも人が住んでいて持続可能であり、住めないわけではない。
----------	---

【市の考え方】 その他

ご意見として承ります。

第3章 計画の位置付け(意見数1件)

要望 3	「浜松市公共施設等総合管理計画」によると、平成27年度からの公共施設削減数は439施設となっており、中でも中山間地域での削減が目立つ。他の計画では中山間地域を衰退させているのではないか。他計画との調整が必要ではないか。
---------	---

【市の考え方】今後の参考

「浜松市公共施設等総合管理計画」については、中山間地域の特性を考慮し、地域活性化の視点を保ちながら、実情に合わせた施設運営や多機能化・複合化を進めることとしています。

また、他計画との調整については、2024(令和6)年度に設置した中山間地域振興推進本部や中山間地域振興ワーキンググループで関係課と調整してまいります。

いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

第4章 計画の考え方(意見数3件)

その他 10	中山間地域がかつてのように人が住める場所になればよい。人が住めば、学校が再開され、店が出来、医師も来る。この中山間地域振興計画(案)の根本にある考え方を変えてほしい。中山間地域はお荷物という発想ではなく、昔に戻せば良いだけである。三遠南信自動車道、中央自動車道、新東名高速道路、リニア中央新幹線のメリットが大きいとあるが、山に住むことに繋がるとは思えない。情報はインターネットで入手できるため、必ずしも都会であることを必要としない。
-----------	--

【市の考え方】 その他

ご意見として承ります。

1 みんなで推進する中山間地域の振興

要望 4	広域的な振興の成果や今後の方針、将来像など三遠南信広域連携の記載を充実させるべきではないか。
---------	--

【市の考え方】 今後の参考

三遠南信広域連携に関する今後の方針などは、本市も加盟する三遠南信地域連携ビジョン推進会議(通称:SENA)が定める「第2次三遠南信地域連携ビジョン(2019～2030年度)」において示されているため、本計画には記載いたしません。本市としては、SENAとともに三遠南信地域の発展に向けて、広域連携の推進に取り組んでいます。

いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

2 住民ニーズに基づく施策の重点化

要望 5	中山間地域振興ワーキンググループの分科会を開催する場合、地域の声を聞きながら進めていくべきと考えるがいかがか。
---------	---

【市の考え方】 今後の参考

計画策定にあたり、集落座談会などを開催し、地域の声を計画に反映しました。計画策定後も地域の声を大切にしていまいります。

第5章 計画の概要(意見数 15 件)

1 基本理念

その他 11	中山間地域に「可住地が少ない」とあるが、住めないのではなく、住まないだけであるため、発想が違うように思う。
-----------	---

【市の考え方】 その他

本計画では、総務省統計局の算出方法を踏まえて、可住地面積を「地域の総面積－(森林面積＋湖沼面積)」の計算式で算出しています。中山間地域では森林面積が約9割を占めていることから、「可住地が少ない」と記載しています。

2 目標

提案 3	目標の②「みんなが『中山間地域は魅力的・大切な地域（浜松の宝）である。』と思える地域の共創」は、重点方針2「『ひと』のつながりを大切にし、ともに支える中山間地域」が関係すると考える。都市部の市民を巻き込み、中山間地域に対して興味を持ってもらうための施策が必要である。 重点方針2には4つの主要施策が挙げられているが、この施策数を増やしていくために、今までにないアイデアを都市部の市民からもらい、取り入れてはどうか。
---------	---

【市の考え方】 今後の参考

都市部の市民から中山間地域に対して興味を持ってもらうことは、大切だと考えています。新たなアイデアを取り入れる事業として、2024(令和6)年度から「みんなの中山間地域応援事業」で市内のみならず市外からも中山間地域振興等に資する事業提案の募集を行っています。

今後も、中山間地域を「みんな」で支える仕組みづくりを考えてまいります。

質問 3	目標の②の説明文にある「関係人口」とはどのような意味か。
---------	------------------------------

【市の考え方】案の修正

関係人口は、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉であり、詳しくは、計画冊子の P36【コラム 4】〈関係人口としての中山間地域への関わり方〉で説明させていただきます。

また、いただいたご意見により、以下のとおり修正します。

《修正内容》

P8 目標②

(修正前)

「関係人口」の用語解説無し。

(修正後)

「P36【コラム 4】〈関係人口としての中山間地域への関わり方〉で解説。」と用語解説へ追記。

要望 6	目標の②の説明文に「都市部の市民、市外在住者」とあるが、都市部の市民らが中山間地域のためにできることを、計画の中に具体的に記載していくべきではないか。
質問 4	「都市部の市民や市外に住んでいる人の一人ひとりが、中山間地域のために何ができるのか」という視点が盛り込まれていないが、どのように考えているのか。

【市の考え方】案の修正

都市部の市民や市外在住者の中山間地域との関わり方について、計画冊子の P36【コラム 4】〈関係人口としての中山間地域への関わり方〉へ掲載します。

5 計画の総合指標と目標値

要望 7	暮らしている地域に「愛着」や「誇り」を持っている(77.8%)と住み続けたい(57.5%)とある。そのギャップを解明すれば人口減の要因が分かり、地域課題解決の一助になると考える。
提案 4	「総合指標」の「中山間地域にお住まいの方を対象にしたアンケート」のうち、「今後も現在の場所に住み続けたいと思う人の割合」について、若者は「外に出たい」、年配者は「今更外には出たくない、住み続けたい」と二分すると思われるため、年齢層別でも集計した方がよいのではないかと？その方が将来を見据えた取り組みができるのではないかと？

【市の考え方】今後の参考

いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

7 対象地域

要望 8	中山間地域の対象地域に含まれていない地域が中山間地域の指定を受けたいのであれば申し出をしてくださいという旨が記載されているが、行政から地域に対して中山間地域の制度説明を行い、手を差し伸べる必要があるのではないかと。 また、「政策によっては弾力的に運用することを検討する」と記載されているが、判断基準が必要ではないかと。
---------	--

【市の考え方】今後の参考

中山間地域に係る制度等については、出前講座等により説明を行うなど、ご理解をいただけるよう努めてまいります。

また、中山間地域に適用される政策の弾力的な運用の判断基準については、政策ごとに地域の実情も加味して、検討することとします。

なお、地域で将来の地域ビジョンを考える場合や地域課題の解決に向けた行政の支援が必要な場合は、市民に身近な総合行政機関である区役所や行政センター、支所、協働センター等にご相談ください。

質問 5	中山間地域の対象地域に鷺沢町の編入を希望する際は、どのような手続きをすれば良いのか教えていただきたい。
質問 6	中山間地域の対象地域に滝沢町を指定する際は、どのような手続きをすれば良いのか教えていただきたい。

【市の考え方】その他

中山間地域への編入に係る手続きについては、地域の声を伺いながら検討することとします。

要望 9	中山間地域に準ずる地域について、市独自で規定や基準を設けてもよいのではないかと。
---------	--

【市の考え方】今後の参考

いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

8 推進体制と進捗管理

提案 5	中山間地域振興アドバイザーについて、推進体制の図ではどこにどのように関わっていくのかわかりにくい。表記の検討をお願いしたい。
---------	--

【市の考え方】案の修正

いただいたご意見により、以下のとおり修正します。

《修正内容》

P11 推進体制と進捗管理

(修正前)

中山間地域振興計画の推進体制図へ中山間地域振興アドバイザーを表示。

(修正後)

中山間地域振興アドバイザーが関わっていく範囲を追加。

要望 10	推進体制の図の中に、「自治会」、「社会福祉協議会」、「病院、診療所」が入っていない。入れるべきではないか。
----------	---

【市の考え方】案の修正

いただいたご意見により、以下のとおり修正します。

《修正内容》

P11 推進体制と進捗管理

(修正前)

中山間地域振興計画の推進体制図へ商工会などの関係団体を表示。

(修正後)

「自治会」、「地区社協」、「病院、診療所」の表示を追加。

提案 6	第5章8「推進体制と進捗管理」について、縦割りを排した推進体制には大いに期待したいが、実際にどのような実効性があるのかが不透明である。定期的に「中山間地域振興推進本部」および「中山間地域振興ワーキンググループ」での協議事項などについて情報公開してほしい。今、何が問題になって、それに対してどのように取り組む予定、取り組んでいるのか公表する事によって、より議論が深まり課題解決に向けて様々な意見交換が可能となるはずである。 また「中山間地域振興アドバイザー」を設置されたが、具体的にアドバイザーがどのような形で課題に関わったのかが分かるような、議事録等を定期的に公表すべきだと考える。
---------	---

【市の考え方】今後の参考

いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

質問 7	中山間地域の中でも地域ごとに特色があり、抱える課題もそれぞれ異なる。中山間地域振興ワーキンググループで、それらを考慮した分科会を設置する考えはあるのか。
---------	--

【市の考え方】 その他

中山間地域振興ワーキンググループの分科会の設置については、今後、必要に応じて検討してまいります。その際、地域の特色や地域が抱える課題を加味することとします。

第6章 重点方針(意見数3件)

1 「まち」が元気でいつまでも安全・安心に暮らせる中山間地域

要望 11	指標の中で、浜松山里いきいき応援隊の隊員定数を増やす方針が打ち出されているが、浜松山里いきいき応援隊を必要としている地域や団体などのヒアリングが十分とは言えないので、是非改善してほしい。 また現在の浜松市では浜松山里いきいき応援隊に対して「フリーミッション型」の公募をしているが、地域や団体などのヒアリングによっては「ミッション型」の浜松山里いきいき応援隊を必要としている場合もあるのではないかな。 「ミッション型」の浜松山里いきいき応援隊の存在によって、あらたな地域の持続性を高める事業などが展開されるのであれば、柔軟な対応をするべきである。
----------	---

【市の考え方】その他

浜松山里いきいき応援隊については、集落座談会等を通じて地域から評価の声をいただいております、引き続き活用を図っていくため、区役所や行政センター、支所等で地域からのご意見を承っておりますが、改めて、ご意見を伺う場の設置についても、検討してまいります。

「フリーミッション型」の隊員募集については、本市の特徴の1つであり、今後とも継続しつつ、地域からの声や各種団体へのヒアリング等を通じて、地域課題の解決に向けて必要と考えられる場合には「ミッション型」の隊員募集についても検討してまいります。

要望 12	高齢者世帯になった時、買物や通院などが不便にならないように、今住んでいる人達が安心して暮らせるように考えてほしい。
----------	--

【市の考え方】盛り込み済

今住んでいる人達が安心して暮らせるように、第6章重点方針1で、『「まち」が元気でいつまでも安全・安心に暮らせる中山間地域』を掲げ、計画を策定しています。

3 地域の資源や特性をいかした「しごと」を創出し維持する中山間地域

質問 8	「6次産業化」とはどういう意味か。
---------	--------------------------

【市の考え方】案の修正

いただいたご意見により、以下のとおり修正します。

《修正内容》

P13 3地域の資源や特性をいかした「しごと」を創出し維持する中山間地域
(修正前)

「6次産業化」の用語解説無し。

(修正後)

「※1 6次産業化：農林漁業者(1次産業)が、加工(2次産業)や販売(3次産業)などを行う経営の多角化や、他産業者(2次産業、3次産業)と連携して行う取り組み。」と用語解説を追記。

第7章 主要施策(意見数 67 件)

要望 13	8「保健、医療、福祉の確保」や13「子育てがしやすい環境づくり」をはじめ、中山間地域には特別な配慮が必要であるため、細かなことまで中山間地域特有の事情を踏まえ、関係部署へ働きかけてほしい。
要望 14	1「地域コミュニティ機能の維持、活性化」、5「地域の交通手段の確保」を充実させ、その結果、他の主要施策にも関心がおよび、より良い自助、共助、公助につながるのではないかと。総花的ではなく、もっと施策を絞ることを希望する。
要望 15	計画が具体的に進むと、横断的に施策が展開されると考える。13「子育てがしやすい環境づくり」では、まずは2「移住・定住の促進」として若者を呼ぶためのテレワークやネット環境の整備が必要となる。次に、移住された若者に、18「地産地消、地産外商の推進」の取り組みをネットでPRできるようにするなど、より具体的に展開されるとよい。 高校生が、再び地域に帰ってきて仕事に就けるよう、具体的な政策を期待している。

【市の考え方】今後の参考

いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

1 地域コミュニティ機能の維持・活性化

要望 16	(2)理想の姿の1点目について、「行政と」を追加し、「多様な住民が『行政と』互いに理解し合い…」としてはどうか。
----------	--

【市の考え方】その他

理想の姿に記載している「年齢や性別の違いを超え、多様な住民が『互いに理解し合い、協力し合う一体感のある地域社会』」は、近隣集落や都市部との住民同士が連携する地域社会を表しています。

提案 7	12「関係人口・交流人口の創出」に対比させる意味で、1「地域コミュニティ機能の維持・活性化」の後ろに「(定着人口維持支援)」を追記してはどうか。定着人口が安定しなければ関係人口・交流人口が成り立たないのでないか。
---------	--

【市の考え方】今後の参考

本計画では、市民にとってわかりやすい計画とする観点から、主要な施策のタイトルを短く端的に表現しています。

いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

3 遊休財産の活用

要望 17	(3)主な取り組みについて、「有害鳥獣の農作物被害により農業(高齢者の楽しみ)への意欲が低下することのないようあらゆる対策を実施する…」という意味を含めるのはどうか。
----------	---

【市の考え方】盛り込み済

第7章 17「有害鳥獣対策の強化」(3)主な取り組みの1点目において、安定的な農林業経営が行われるよう、「有害鳥獣の侵入防止対策や生息環境の管理、捕獲の強化などで農作物被害の抑制」に取り組んでいます。

また、農業への意欲の低下についてのご意見は、今後の参考とさせていただきます。

質問 9	第7章 3「遊休財産の活用」について、年々増えている空き家の実態把握はどのようにしているのか。 移住者の視点は、定住者には見えない部分が見え、気づきがあることから大切にあり、地域課題解決のヒントも生み出してくれると思う。
---------	---

【市の考え方】今後の参考

「適切な管理がされておらず市民から市に相談のあった空き家」の情報をデータベース化して把握しています。市からの指導や所有者の対応状況等も記録していますが、データは個人の資産に関わる情報のため公表はしていません。そのほか、中山間地域の Welcome 集落※において、集落内の空き家の情報を収集しています。

また、移住者の視点についてのご意見は、今後の移住・定住事業の参考とさせていただきます。

※ 中山間地域の集落の住民が主体となって、積極的に移住者の受入れ活動をする団体。

提案 8	農家(農業生産者)の平均年齢は70歳となり、数年後には国内の農業生産力が半減すると予測され、近い将来、食べ物を手に入れることが難しい時代がくると予想される。今までは生産性が低く放棄されてきた中山間地域の農地を、個人が活用する農地(区画)として見直すことを、計画の中に入れてはどうか。 浜松市だからこそ、全国に先駆け、新たな中山間地域の農地活用法を打ち出していきたいと願う。
---------	---

【市の考え方】今後の参考

いただいたご意見は、農地保全のための多様な取り組みとして参考とさせていただきます。

なお、耕作放棄地については、地域での話し合い、地元ニーズを確認する中で、農地の利用・保全等を進めてまいります。

5 地域の交通手段の確保

質問 10	(3)主な取り組みの2点目「市立幼稚園及び小中学校の統廃合により、通園及び通学が遠距離となった地域において、通園・通学バスなど適切な支援を提供します。」については、令和7年度から事業を始めるのか。
----------	--

【市の考え方】その他

現在、市立幼小中学校の統廃合により遠距離通園・通学となった地域において、通園・通学バス等の支援を行っています。今後も統廃合により遠距離通園・通学となる地域へ適切な支援を提供してまいります。

提案 9	課題の本源に人口減があるが、「赤字による減便」と「必要な時に利用できないことによる利用者減」と悪循環に陥っている。ライドシェアも検討してはどうか。
---------	---

【市の考え方】盛り込み済

「(3)主な取り組み」に記載の「NPO タクシー」は、公共ライドシェアと同じ分類である交通空白地有償運送です。佐久間地域や春野地域では既に実施されており、中山間地域における公共交通の一部を担っています。

提案 10	バス路線は一旦廃止されると復活はできないこと、学生が地域外へ通学できなくなると家族で地域外へ転出し過疎化がさらに進むこと、他の地域から通学できなければ、学校の存続も困難となることから、(3)主な取り組み1点目について、以下のとおり文章を修正してみてはどうか。 「…地域の実情を踏まえた運行について議論を行い、『特に現行のバス路線の存続を前提として、利用者の利便性を高めるため、』バスやNPO タクシーなどの…」
----------	--

【市の考え方】今後の参考

公共交通に関するご意見については、総合交通計画や公共交通網形成計画を見直す際の参考とさせていただきます。

その他 12	地域の交通手段の確保は、通院や買い物に予約なしに気軽に利用できるように1日数回往復の車が出ると助かるのではないかと。希望者からの簡単な買い物までできると便利である。
-----------	--

【市の考え方】その他

ご意見として承ります。

6 社会基盤格差の是正

質問 11	人とモノの交流における交通網は大切であるが、三遠南信自動車道は、いつ頃全線開通予定なのか。
----------	---

【市の考え方】 その他

三遠南信自動車道は、愛知県東三河地域、静岡県遠州地域及び長野県南信州地域を有機的に連絡する約 100km の高規格を主とした幹線道路です。

現在は、国・県・市が連携して、長野県内の飯喬道路(7.5km)、静岡県境の青崩峠道路(5.9km)、浜松市内の水窪佐久間道路(14km)、愛知県内の佐久間道路・三遠道路(7.1km)、長野県内(1.9km)と浜松市内(7.3km)の国道 152 号現道改良区間の事業を実施しており、近年事業着手した区間もあることなどから全線に渡る開通時期の予定は示されておられません。

また、佐久間道路・三遠道路の東栄 IC から鳳来峡 IC 間(7.1km)については 2025(令和 7)年度内に開通すると伺っており、これにより佐久間川合 IC から浜松いなさ北 IC 間(27.4km)を通してご利用いただけることとなります。

質問 12	6「社会基盤格差の是正」及び8「保健、医療、福祉の確保」について、春野地域で実証実験されたドローンによる遠隔地医療のその後はどのようなになったか。
----------	---

【市の考え方】 その他

2020(令和 2)年に「春野医療 MaaS プロジェクト」として、移動診療車を活用したオンライン診療と、ドローンによる医薬品配送を想定した実証実験を実施しました。

2023(令和 3)年度から地元医師会に委託して春野地域などに地域支援看護師を配置し、オンライン診療の支援を行っています。

なお、ドローンによる医薬品配送については、現在、国が天竜川水系におけるドローン航路の整備を進めており、本市においても民間事業者とともに実装に向けた取り組みを進めています。

要望 18	イベント時は国道の渋滞等があり、阿蔵からの道路がもう 1 本必要です。
----------	-------------------------------------

【市の考え方】今後の参考

現在、事業を進めている国道 152 号浜北天竜バイパスは、阿蔵山工業用地と交通結節点である浜松・浜北 IC までのアクセス道路として整備を進めているところです。阿蔵山工業用地以北の未事業区間につきましては、拠点の繋がり強化や市民の皆様の安全・安心を早期に確保していくため、開発区域までの道路整備完成を見据えつつ、その他の事業との優先度を踏まえ、道路ネットワーク整備に向けた実施計画の策定を検討してまいります。

いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

8 保健、医療、福祉の確保

質問 13	(3)主な取り組みの2点目「医師等の確保」で、看護師について「修学資金貸与事業など」とあるが、中山間地域の医療機関に一定年数勤務したら返済を免除するといった方法も検討されているのか。
----------	---

【市の考え方】その他

天竜区看護師等修学資金貸与条例及び浜松市国民健康保険佐久間病院看護師等修学資金貸与条例では、市が指定する医療提供施設などにおいて一定期間、看護師等の業務に従事をした場合に、修学資金等の返還債務を免除する制度を設けています。

提案 11	春野地区は地域の医師が高齢で後継者もない状態であり、不安な住民が多いため、(3)主な取り組み2点目「医師等の確保」について、以下のとおり文章を修正してみてもどうか。 「…佐久間病院の役割等『無医地区となる地域』について協議する…」
----------	--

【市の考え方】盛り込み済

無医地区となる地域についての対応は、(3)主な取り組み3点目「医療提供体制の確保」に含まれています。

現在、本市では第3次浜松市中山間地域振興計画とは別に、中山間地域の地域ごとの医療体制確保の方向性などをまとめた基本方針を策定中です。

基本方針では、医師の高齢化や後継者の不在が課題となっている春野地域など各地域における医療体制確保に関する対応策を例示する予定です。

要望 19	(3)主な取り組みの7点目に記載しているコミュニティソーシャルワーカー(CSW)の人数が課題である。1人が何件も担当していることもあるため、増員してほしい。
----------	--

【市の考え方】今後の参考

コミュニティソーシャルワーカー(CSW)については、事業開始以来、段階的に増員を図ってきました。今後も、各地域の実情を踏まえ、体制を整えてまいります。

要望 20	障がいのある人への「外出支援事業」でのガソリン代は重度の人しか支給されない。軽度の人への支給も含め、中山間地域の特例として対応できないか。
------------------	---

【市の考え方】 **今後の参考**

中山間地域の課題解決に向け、外出支援事業の支給対象者の拡大などについて、調査研究をしてまいります。

9 防災対策の強化

提案 12	(2)理想の姿の1点目に「災害が発生しない」とあるが、規模はともかく災害発生は不可避であるため、削除したらどうか。「災害が発生しても孤立者を誰一人出さない」などに修正してみてはどうか。
------------------	--

【市の考え方】 **案の修正**

災害リスクを低減するための対策事業を行うことで「災害が発生しない」地域を理想の姿として掲げています。

なお、災害対策は、「公助」だけでは限界があり、防災の基本である「自助」と地域の助け合いである「共助」の3つが機能してこそ、孤立者を出さずに不自由なく日常生活を送ることができますので、それらを踏まえて、いただいたご意見により、以下のとおり修正します。

《修正内容》

P29 9「防災対策の強化」(2)理想の姿の1点目、2点目

(1点目修正前)

「○災害が発生しない。」

(1点目修正後)

「○豪雨や台風、地震などによる災害が発生しない。」

(2点目修正前)

「○災害が起きても死傷者がおらず、不自由なく日常生活を送ることができる。」

(2点目修正後)

「○災害が発生しても死傷者や孤立者がおらず、自助・共助・公助が機能し、不自由なく日常生活を送ることができる。」

提 案 13	(3)主な取り組みの4点目、5点目について、以下のとおり文章を修正してみてください。 ①橋りょうなどの道路施設の耐震化・老朽化の対策及び大雨時の土砂災害に備えた道路斜面对策を行います。 ②災害により道路などが被災した際には、迂回路設定等の迅速な交通規制・安全対策や早期に復旧工事を行います。災害復旧工事などの状況については、市HPや「災害復旧だより」を用いて地域住民への広報活動を強化していきます。
--	--

【市の考え方】案の修正

いただいたご意見により、以下のとおり修正します。

《修正内容》

P29 9「防災対策の強化」(3)主な取り組みの4点目、5点目

(4点目修正前)

「○橋りょうなどの老朽化への対応強化及び大雨時の土砂災害に備えた道路斜面对策を行います。」

(4点目修正後)

「○大雨時の土砂災害に備えた道路斜面对策や緊急輸送道路の橋りょう耐震化、インフラ老朽化対策を行います。」

(5点目修正前)

「○災害により道路などが被災した際には、早期に復旧工事を行います。災害復旧工事などの状況については、市HPや『災害復旧だより』を用いて地域住民への広報活動を強化していきます。」

(5点目修正後)

「○災害により道路などが被災した際には、迂回路の設定や迅速な安全対策、早期の復旧工事を行います。災害復旧工事などの状況については、市HPや『災害復旧だより』を用いて地域住民への広報活動を強化していきます。」

要 望 21	(3)主な取り組みについて、「災害に強い道路の改良事業(迂回路整備etc…)を行う」という意味を含めるのはどうか。
--	--

【市の考え方】盛り込み済

災害に強い道路の改良事業や迂回路整備などについては、第7章6「社会基盤の是正」(3)主な取り組みの中で、「三遠南信自動車道の整備に合わせ、市が整備する国道152号の現道改良工事を推進するとともに、身近な生活道路を含めた道路を整備することで、災害予防や応急対策につなげます」と記載し、含まれています。

10 中山間地域交流プロモーション

質問 14	(1)現状と課題のアンケート結果について、中山間地域へ訪れたことのある 58%はどこを訪れたのか。訪れた先が分かれば教えてほしい。
----------	---

【市の考え方】今後の参考

訪れた先まで設問に無いため、お示しできません。

いただいたご意見は次回アンケート調査の参考とさせていただきます。

要望 22	中山間地域は、浜松市の半分以上を占めている。中山間地域と都市部の人的交流が生まれることも含めて、考えてほしい。 中山間地域ではイベントや祭りが多く開催されている。中央区民が中山間地域へ行ったり、中山間地域の住民が中央区へ来たりするなど、浜松市全体で交流が生まれるような政策をお願いしたい。また、それぞれ地域で開催されているイベントが結びつくようにしてほしい。
要望 23	都市部の人々がイベントなどで中山間地域に来るのを待つのではなく、中山間地域の方々が都市部へ積極的に宣伝やイベントに来ることで、より効果があるのではないかな。

【市の考え方】今後の参考

いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

要望 24	浜名区役所には「北遠秋祭り」のポスターが掲示されていたが、市役所本庁舎には掲示されていない。庁内にもっと貼り出すべきではないかな。
要望 25	中山間地域のイベントについて、全庁的にポスターを掲示して積極的に PR をしていただきたい。

【市の考え方】今後の参考

今後は、市役所本庁舎に PR コーナーを設けるなど、積極的な広報に努めてまいります。

11 地域資源を強みにした誘客の促進

提案 14	(1)現状と課題について、キャンプ以外にも様々なアウトドア活動ができることからイメージがより膨らむように、「また、多くの史跡、有形・無形の文化財、伝統芸能、地域の産業などがあり、川や森、山などをいかしたキャンプ、ウォーキング、サイクリングなど、アウトドア活動が楽しめます。」と、加筆修正することを提案する。
----------	---

【市の考え方】案の修正

いただいたご意見により、以下のとおり修正します。

《修正内容》

P33 11「地域資源を強みにした誘客の促進」(1)現状と課題

(修正前)

「また、多くの史跡、有形・無形の文化財、伝統芸能などがあり、川や森、山などをいかしたキャンプなど、アウトドア活動が楽しめます。」

(修正後)

「また、多くの史跡、有形・無形の文化財、伝統芸能、地域の産業などがあり、川や森、山などをいかしたキャンプ、ウォーキング、サイクリングなど、アウトドア活動が楽しめます。」

要望
26

(3)主な取り組みの1点目「ガストロノミーツーリズム」とはどのような意味か。具体的なイメージがわかるような形での記載をお願いしたい。

【市の考え方】案の修正

いただいたご意見により、以下のとおり修正します。

《修正内容》

P33 11「地域資源を強みにした誘客の促進」(3)主な取り組みの1点目

(修正前)

「○中山間地域の気候や風土が生んだ地元食材や習慣、伝統などにより育まれた食文化を楽しみながら旅する『ガストロノミーツーリズム』を推進します。」

(修正後)

「○中山間地域の気候や風土が生んだ地元食材や習慣、伝統などにより育まれた食文化を、農作物の収穫体験や伝統的な料理の実演体験などで楽しみながら旅する『ガストロノミーツーリズム』を推進します。」

提案
15

(3)主な取り組みの2点目について、地域で構築されたツアーが具体的にイメージしにくいいため、国が進めている地域の自然や異文化を体験する「アドベンチャーツーリズム」の考えを取り入れ、「(公財)浜松・浜名湖ツーリズムビューローと協力し、地域の自然や産業、異文化の体験により構築されたウォーキングやサイクリングなどのアドベンチャーツアーを着地型旅行商品として販売し、中山間地域への来訪者の増加を図ります。」と、加筆修正することを提案する。

【市の考え方】案の修正

いただいたご意見により、以下のとおり修正します。

《修正内容》

P33 11「地域資源を強みにした誘客の促進」(3)主な取り組みの2点目

(修正前)

「○(公財)浜松・浜名湖ツーリズムビューローと協力し、地域で構築されたツアーを着地型旅行商品として販売し、中山間地域への来訪者の増加を図ります。」

(修正後)

「○(公財)浜松・浜名湖ツーリズムビューローと協力し、地域の自然や産業、文化の体験、アウトドア活動などで構成されたツアーを着地型旅行商品として販売し、中山間地域への来訪者の増加を図ります。」

12 関係人口・交流人口の創出

要望 27	天竜区は、中東遠地域である磐田市、袋井市、森町などと隣接しており、中東遠地域からの誘客や人の往来についての施策も考えると、持続可能な浜松市の中山間地域の発展につながると思う。
要望 28	中山間地域交流デラックス事業に4回参加した。水窪は遠く、行くのに道が狭く大変であった。中山間地域に行きたい人はたくさんいると思うので、道路が整備されるとよい。

【市の考え方】今後の参考

いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

その他 13	計画案により、浜松市全体の中で、中山間地域は大切な財産であることを再確認した。浜名区の中山間地域には引佐地域があり、今後も支援していく必要がある。 主要施策の中で、中山間地域の人口増加を願うことが多いが、幼稚園の閉園や学校の閉校などが多く、中山間地域の住民の願いと現実にギャップが生じている。 今後は、都市部の人でも中山間地域に足を運んでみてはどうか。食材や産業祭などを目的に地域を訪れるなど、アクションを起こし、中山間地域への関心を高めたい。
その他 14	(3)主な取り組みの4点目に「インバウンドの促進」あるが、外国の人は中山間地域こそ日本の原風景と見るようであり、文化にも興味があるように思う。

その他 15	中山間地域交流デラックス事業は若い人の企画が盛りだくさんであった。今後も続けてほしい。 都市部で開催された協働センターのオータムフェスタに、浜松山里いきいき応援隊が出展していた。これからも応援したい。 中山間地域は、小旅行感覚で行けるところなので、また行きたい。
-----------	--

【市の考え方】 その他

ご意見として承ります。

13 子育てがしやすい環境づくり

提案 16	「子育てができる環境づくり」が新しい施策として加わった際、天竜区にとってとても良いことだと評価したが、「子育てがしやすい環境づくり」に変更されている。天竜区協議会としては、「できる」という言葉をポジティブなものとして捉えており、区協議会の意見として、「しやすい」から「できる」に変更することを提案する。
提案 17	タイトルについて、「子育てができる環境づくり」にすべきである。理由は、「子育てがしやすい環境づくり」という表現は、既に子育てができる環境があり、よりしやすくする、という意味にとれるが、天竜区の現実と乖離している。幼稚園に入る前のこどもを預ける場所がなく、さらに幼稚園に入れても親が仕事をしている時間、預けられる場所がなく、困っている世帯や、移住を諦めてしまう移住希望者がいる。天竜区の現状は、保育園が全くない地域がほとんどという状況で、「子育てができる環境づくり」という表現の方が現状と合致している。
提案 18	令和6年6月頃から計画案について様々なヒアリングや意見交換が行われ、「子育てができる環境づくり」があらたな施策と打ち出され、高く評価していたが、パブリック・コメントの計画(案)では「子育てしやすい環境づくり」と表現が変更されていた。 「子育てができる」という言葉こそが中山間地域に暮らす私たちに必要なものであり、当初の表現である「子育てができる環境づくり」に戻すべきである。

【市の考え方】 案の修正

いただいたご意見により、以下のとおり修正します。

《修正内容》

P38 13「子育てがしやすい環境づくり」

(修正前)

「子育てがしやすい環境づくり」

(修正後)

「子育てができる環境づくり」

質問 15	(3)主な取り組みの2点目「市立幼稚園において、適正な園の配置や交流事業、満3歳児受入れなどを進めることで、『集団での学び』や幼児教育・保育の機会を確保します。」については、令和7年度から事業を始めるのか。
----------	---

【市の考え方】 その他

適正な園の配置や交流事業については、これまでも実施してきており、今後も継続してまいります。一方、満3歳児の受入れについては、2025(令和7)年度から開始する予定の事業です。2025(令和7)年度は、中山間地域の一部の園において試行的に実施し、効果や課題などを検証したうえで、その後の拡大などについて検討してまいります。

要望 29	保育ママ事業や放課後子供教室などについての記載がある。現在、保育ママ事業は、天竜区に住民登録がないと利用できないが、対象地域や対象者を拡充できないか。
----------	---

【市の考え方】 今後の参考

保育ママ事業は、天竜区の保育需要に対応するための事業となります。事業の拡充については、就学前施設の状況や保育ママの声などを踏まえ検討してまいります。

要望 30	(1)現状と課題について、「県立高等学校への入学者の減少が懸念」とあるが、天竜高等学校には林業や福祉に関するユニークな学びのフィールドがあり、よりアピールすべきである。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

中山間地域における高等学校の生徒確保に向けたご意見として承ります。また、いただいたご意見については、所管する県教育委員会へお伝えしました。

質問 16	中山間地域では、児童数の減少に伴い、幼稚園や小学校、中学校が閉校して統合されている。学校の統廃合の基準を教えてください。
----------	--

【市の考え方】 その他

学校の統廃合に関する基準はありません。

学校は、地域コミュニティの核となる重要な施設であると考えています。

学校の統合などを検討する際には、多様な地域事情等に配慮するとともに、「子どもたちにとって望ましい教育環境の実現」と、「地域における学校の在り方」の視点で保護者や地域の皆様から意見や要望をいただきながら検討・協議を行っています。

質問 17	天竜区内のこども園について、12月の募集人数は2歳児が1人で他は0人である。入園したいこどもは、入園できない状況なのか。
----------	--

【市の考え方】その他

認定こども園等の募集人数は、在園児の状況等により、各保育施設で決定しています。募集人数は、年度当初の4月が多く、年度途中の募集は、在園児の転園や退園等の理由によるものであり、募集人数は多くありません。

入園を希望される方には、募集状況は毎月変化することをお伝えし、希望園に募集がない場合は、希望園の変更など選択の範囲を広げていただくようご案内しています。

14 農産物の特産品化、6次産業化の推進

要望 31	春野町の自然薯は人気があり大いに期待できるが、生産者は数軒であり、後継者不在でもあると聞く。今後、特産品化を含めた戦略的な取り組みについて早急な検討が必要である。
----------	---

【市の考え方】盛り込み済

農業分野における担い手不足は、関係する施策に共通する課題です。第7章 12「関係人口・交流人口の創出」や14「農産物の特産品化、6次産業化の推進」など複合的に取り組むことで担い手の確保につなげます。

15 儲かる林業への進化

要望 32	(3)主な取り組みの2点目「カーボנקレジット」とはどのような意味か。具体的なイメージがわかるような形での記載をお願いしたい。
----------	---

【市の考え方】案の修正

いただいたご意見により、以下のとおり修正します。

《修正内容》

P41 15「儲かる林業への進化」(3)主な取り組みの2点目

(2点目修正前)

「○森林の新たな価値を生み出すため、FSC 森林認証をいかしたカーボנקレジット※⁴の登録・発行に取り組みます。」

(2点目修正後)

「○森林の新たな価値を生み出すため、FSC 森林認証をいかした森林由来のカーボנקレジット※⁴の登録・発行に取り組みます。」

(用語解説修正前)

「※4 カーボンクレジット:省エネ設備の導入や森林の管理等で創出される温室効果ガスの吸収・削減量を他の企業等との間で取引できる制度。」

(用語解説修正後)

「※4 森林由来のカーボンクレジット:間伐・植林等、適切な森林の管理等で創出される温室効果ガスの吸収量を他の企業等との間で取引できる制度(右図参照)。」

及びイメージ図を追加。

提案 19	(3)主な取り組みの4点目について、「林道情報のデータ化推進」という言葉があるが、林道の「整備」という文言がない。明確に記載してはどうか？
----------	---

【市の考え方】案の修正

いただいたご意見により、以下のとおり修正します。

《修正内容》

P41 15「儲かる林業への進化」(3)主な取り組みの4点目

(修正前)

「OFSC 森林認証に基づく適切な森林の維持・管理に加え、林道情報のデータ化推進や効果的なパトロール実施等により、災害に強い森林づくりを推進します。」

(修正後)

「OFSC 森林認証に基づく適切な森林の維持・管理に加え、地形・地質等を考慮した林道網の整備や林道情報のデータ化推進、効果的なパトロール実施等により、災害に強い森林づくりを推進します。」

質問 18	中山間地域にある FSC 認証を受けた木材を切り出す手段はどのようにしているのか。
----------	---

【市の考え方】その他

木材を切り出す手段としては、次の2種類の方法で木材搬出を行い、地形等に応じて効率的に実施するとともに、FSC 基準に基づいて環境に配慮した取り組みを進めています。

- ① 路網集材／作業道等を開設して搬出
- ② 架線集材／空中にワイヤーロープを張って搬出

質問 19	(1)現状と課題の中に、「担い手不足に陥っており、担い手の確保は重要な課題です。」とあるが、どのような対策を考えているのか。
----------	--

【市の考え方】その他

対策として、次の事業を行い、担い手(林業従事者)の確保・育成に努めています。

- ・新規就業者支援事業／採用から3年未満の給料等への支援
- ・新規就業者技術力向上事業／技術力向上に関する研修会等の開催費用の支援
- ・担い手確保・育成活動事業／担い手確保につながるインターンシップや現地見学会等の開催費用の支援
- ・林業従事者安全装備品等支援事業／安全装備品(防護ズボン、安全靴等)購入に対する支援

要望 33	(3)主な取り組みについて、一般材との差別化を図りFSC認証材を強力に売り込むべきである。 また、森林環境譲与税を有効に活用し、後継人材の育成、林業従事者への支援をすべきである。
----------	--

【市の考え方】盛り込み済

現在、天竜材(FSC 認証材)に特化させ、住宅及び非住宅に活用する際の助成事業を実施するとともに、地産外商を目的とした都市部でのイベント参加等を行い、天竜材(FSC 認証材)の販路拡大を進めています。

また、安全装備品の購入や新規就業者の雇用に係る支援制度を設け、森林環境譲与税を活用し、林業従事者の確保・育成に努めています。

提案 20	戦後の拡大造林により伐期齢に達した山がたくさん見られるため、森林環境譲与税を使い、山主に伐価に合った補助金を出し、年間2～3か所くらい皆伐する事業を提案したい。
----------	--

【市の考え方】今後の参考

現在、林業の成長産業化や林齢の平準化を目的に、主伐※後の再造林等の作業や主伐で生産された木材(丸太)の搬出作業を支援する「浜松型林齢平準化促進事業」は、森林環境譲与税を活用し実施しています。

皆伐は、森林所有者が木材価格や皆伐後の植栽・育林費用等を踏まえて、実施されています。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

※ 森林の樹木を収穫するための伐採かつ森林の更新を伴う伐採のことであり、全てを伐採する「皆伐」と部分的に伐採する「択伐」がある。

要望 34	FSC 認証天竜材使用住宅の取り組み強化が不可欠であると思うがいかがか。
----------	--------------------------------------

【市の考え方】 盛り込み済

現在、天竜材 (FSC 認証材) を一定量以上使用する木造住宅の建築主への支援事業 (天竜材の家百年住居 (すまいる) 事業) を実施しています。

質問 20	木を切るにも費用が掛かり、林業従事者も少ない。林業の現状はどのようなになっているのか。
----------	---

【市の考え方】 その他

林業は、SDGs や脱炭素化への意識の高まりから追い風が吹いているものの、ウッドショック後の木材価格の低迷や林業従事者の減少・高齢化等、課題も多い現状です。

本市では、国際認証制度である FSC 森林認証を効果的に活用し、「“育てる林業” から “売る林業” への進化」を目指した取り組みを進めています。

質問 21	個人持ちの山から木を切って売ろうとしても林道がないため、ほったらかしになってしまう。個人持ちの山の管理をしたり、木材を販売したりしないと、ますます山が荒れてしまうのではないか。個人持ちの山について、どのように考えているのか。
----------	--

【市の考え方】 その他

本市の森林は、約 8 割が「私有林 (個人持ちの山)」であることが特徴です。本市では、森林の持つ多面的機能の維持・増進のため、私有林を含めた森林の適切な整備が重要だと考えています。そのため、私有林を中心に国際認証制度である FSC 森林認証を取得しており、持続可能な森林経営・管理を進めています。

また、現在、私有林の整備を促進するため、森林整備 (植栽・間伐・作業道開設等) に対する補助事業を実施しています。

質問 22	天竜美林は、高齢の林業従事者が機械化を進めて管理をしている。浜松市は、森林管理の機械化に対してどのように考えているのか。
----------	--

【市の考え方】 その他

森林管理や木材生産を行う上での機械化は、生産性の向上やコストの削減、省力化等の面から非常に重要だと考えています。

本市では、高性能林業機械の導入支援等を行い、林業の機械化を推進しています。

要望 35	「儲かる」がキーワードだと考えられる。儲かることで、人材育成や木材のブランド化などに関する課題が解決されるのではないかな。具体的な施策の展開をお願いしたい。
----------	--

【市の考え方】今後の参考

本市では、「浜松市森林・林業ビジョン」の戦略に「“育てる林業”から“売る林業”への進化」を掲げ、「儲かる林業」を目指しています。

これに基づき、FSC 森林認証の取得による、天竜材のブランド化(環境的な付加価値創出)を進めるとともに、林業従事者の労働環境の向上等に努めています。

また、FSC 認証林でのカーボンクレジット創出を実現することで、森林の価値最大化を目指しています。

いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

要望 36	写真について、優良材の伐採風景で明るく活力のある風景が望ましいと思うがいかがかな。
----------	---

【市の考え方】今後の参考

現在の写真は、天竜美林で自伐林家※が伐倒方向を検討している作業風景であり、こちらにも美しい人工林とそこで活躍する林業家を写した素材であると考えています。

いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

※ 所有する山林で、伐採から搬出、出荷までを自力で行う林業家。

要望 37	働き方改革が進む中で、農業や林業などの第1次産業だけが改革が進んでいない。働き方改革を加味した施策の展開をお願いしたい。
----------	--

【市の考え方】今後の参考

高齢化などを理由に担い手が減少する中、スマート農業及びスマート林業の推進などにより、作業の省力化・効率化を図ることで、第1次産業の労働環境を整えてまいります。各分野の具体的な施策については、浜松市総合計画の中で実施計画を毎年定めて取り組んでまいります。

16 働く場・新事業の創出

提案 21	雇用機会の創出や地域の活性化が謳われているが、それに関わる人々の家族の姿がイメージできていないように思うため、下記のとおり提案する。 阿蔵山産業用地に「企業型保育園」を設置すべきである。働く場の近くにこどもを預けられるところがあれば、子育てをしている保護者にとっても、安心して働ける場としての選択肢となり、保護者の負担も減る。その結果、労働者の確保にもつながるのではないかな？
-------------------------	--

【市の考え方】 今後の参考

従業員の働きやすい環境整備に積極的な企業も増えていることから、いただいたご意見も参考に、企業立地を推進してまいります。

提案 22	新たに天竜区に進出する企業確保も重要だが、既存の「働く場」も重要である。人材集めに苦勞する地元企業の支援となる「合同企業説明会」の開催を検討してはどうか？
-------------------------	--

【市の考え方】 今後の参考

いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

質問 23	「スタートアップ」を誘致するための環境整備はできているのか。
-------------------------	---------------------------------------

【市の考え方】 その他

本市では、天竜トライアルオフィスを含め市内3か所にスタートアップ活用可能なスペースを確保するとともに、市内企業と全国のスタートアップのマッチングプラットフォーム「ハマハブ！」の運営など、スタートアップが生まれ・集まり・育つ環境の構築に向けた取り組みを、市内の各種支援機関等とも連携し行っています。

17 有害鳥獣対策の強化

要望 38	(3)主な取り組みの1点目について、生息環境の管理という中に「鳥獣の生活を維持するための森林の回復(広葉樹林帯の復活…)」という意味を含めるのはどうか。
-------------------------	---

【市の考え方】 盛り込み済

鳥獣の生活を維持するための森林の回復については、現在、適切に管理されていない森林を対象に、広葉樹の自然発生を促し、混交林^{※1}化を進めること目的とした環境伐^{※2}(浜松版森林経営管理事業)を実施しています。

※1 2種以上の樹種から成る山林。

※2 地表に光をあてることで、下草や広葉樹の自然発生を促すことを目的とした施業方法(間伐)。

要望 39	(3)主な取り組みの1点目について、頭数が増大しているシカ、サル、クマの早期対策をお願いしたい。
----------	--

【市の考え方】盛り込み済

シカ、サル、クマの早期対策については、現在も安定的な農林業経営が行われるよう、有害鳥獣の侵入防止対策や生息環境の管理、捕獲の強化などで農作物被害の抑制に取り組んでいます。

18 地産地消、地産外商の推進

要望 40	地場産の中心である天竜茶(緑茶、てん茶、紅茶、ウーロン茶)を示していくべきではないか。
----------	---

【市の考え方】盛り込み済

地域の農産物全般を対象としているため具体的な名称は記載しませんが、第7章14「農産物の特産品化、6次産業化の推進」の中では代表的な農産物を記載しています。

その他 16	中山間地域の農産物のブランド化とSNSの活用は地域の活性化になる。また、移住者が空き家を利用することは、人にも家にも良いことだと思う。
-----------	---

【市の考え方】その他

ご意見として承ります。

19 小売・サービス業の振興

要望 41	「クローバー通り商店街」の写真は商店街のイメージが希薄であるため、差替えできないか。
要望 42	画像をトリミングして、「きころ」を拡大して新たな活力を示すべきではないか。

【市の考え方】案の修正

いただいたご意見により、以下のとおり修正します。

《修正内容》

P49 19「小売・サービス業の振興」

(修正前)

「クローバー通り商店街」の画像１枚。

(修正後)

差替え後の「クローバー通り商店街」の画像２枚とキャプション(写真の説明文)に「(天竜区二俣町)」を追記。

要望 43	「移動スーパー」が拡大し定着してきており、位置づけるべきではないか。
----------	------------------------------------

【市の考え方】今後の参考

(2)理想の姿の中にある「日常生活に支障がない機能」には「移動スーパー」も含んでいますが、いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

その他(意見数 8 件)

要望 44	鷺沢地域は計画で指定されている中山間地域には含まれていないが、鳥獣被害があったり、大雨時は舗装した道路に水が溢れていたりするため、現地を見にきてほしい。
----------	--

【市の考え方】 その他

地域の困り事や課題への対応は、市民に身近な総合行政機関である区役所や行政センター、支所、協働センター等にご相談ください。なお、鳥獣被害や大雨時の冠水等所管課が特定されている場合は、それぞれの所管課にご相談ください。

要望 45	中山間地域振興として、取り組まれている事業の周知や広報に力を入れてほしい。
質問 24	計画を実施する際は、どのように広報していくのか。

【市の考え方】 その他

本計画は 2025(令和 7)年 4 月から施行されます。広報については、浜松市 HP での公開や区役所、行政センターなどでの計画冊子の配架及び出前講座などを実施してまいります。

要望 46	全市民が中山間地域に対して興味を持ってもらえるよう、啓発してほしい。
----------	------------------------------------

【市の考え方】 今後の参考

今後も、中山間地域に対し興味を持ってもらえるよう、プロモーションを行ってまいります。

いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

要望 47	地域コミュニケーションへのデジタルの活用をもっと真剣に取り組んで頂きたい。現在のアナログな地域コミュニケーション手段は手間、時間、費用を浪費しているだけである。そのため、本質的な施策に時間が回せていないと感じる。伝え方についての再考をお願いしたい。
要望 48	今後の中山間地域の発展には、思い切ったことが必要ではないか。工場誘致をしても、移動時間が長く道が狭いなどの課題がある。阿蔵山に野球場を誘致するなど思い切った施策が必要ではないか。中山間地域の発展について、計画に沿って着実に推進していただきたい。

要望 49	計画案は、多くの議論を経てよく練られているという印象を受けた。どの施策も、話し合ってつくっていただきたい。三ヶ日や細江地域などの中山間地域でも都市部でもない地域の扱いは課題である。政策的に遅れた地域にならないよう、早急に検討していただきたい。
要望 50	天竜区にはいくつかの「道の駅」があるが、佐久間地域にはない。三遠南信自動車道が開通することにより、県内のみならず他県からも佐久間地域を訪れやすくなることもあり、地域の拠点として「道の駅」の設立を強く要望する。

【市の考え方】 今後の参考

いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。